

# 宮城県考古学会連絡紙

第88号

2023年7月9日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室 宮城県考古学会事務局

## 令和5年度(2023) 総会、研究発表会

5月20日(土)に、松島町文化観光交流館アトレ・るHALLにて、2023年度宮城県考古学会総会・研究発表会を以下の日程で開催しました。会員・会員外あわせて87名の参加がありました。

【総会】10:00～10:50

佐久間光平会長から開会の挨拶があり、続いて議長団を選出し下記の審議事項4件と報告事項3件について議事が行なわれました。

### 審議事項

議案第1号 2022年度の事業報告について

議案第2号 2022年度収支決算報告

議案第3号 2023年度の事業計画(案)について

議案第4号 2023年度収支予算(案)

### 報告事項

(1)東日本大震災復興調査成果活用実行委員会

(2)宮城県考古学会普及委員会

(3)災害対策会議について

以上の各議案について担当幹事(議案第1号は佐藤敏幸幹事長、第2・4号は及川謙作総務代表幹事、第3号は佐藤敏幸幹事長と長島榮一委員長)から説明があり、審議の結果、議案第1号から第4号まで可決承認されました。

【研究発表会】11:00～16:30

松島町教育委員会・宮城県教育委員会の共催のもと、一般研究発表および特集「宮城の中近世考古学の可能性」として開催しました。特集では下記の通り趣旨説明と口頭発表5件、特集総括についての発表がありました。

最後に、鹿又喜隆副会長から閉会の挨拶があり、本会は終了しました。

### ○一般研究発表

柳澤和明 「多賀城「城下」南方の潟湖残存説の再検討」

相原淳一 「遺跡における津波堆積の検討—津波固有の堆積構造と珪藻分析を中心に—」

### ○特集「宮城の中近世考古学の可能性」

趣旨説明 古川一明(中近世部会長)

報告1 竹井英文

「宮城県の中近世城館跡をめぐる諸問題」

報告2 田中則和

「三陸南部の板碑—板碑群の原位置の様相」

報告3 森田義史

「宮城県域出土の中世陶磁器集成に向けて」

報告4 横田竜巳

「宮城県の近世石仏についての一考察—遠田郡一帯の子安観音塔を例に—」

報告5 仙台市教育委員会 関根章義

「仙台北城跡の近年の調査成果について」

特集総括 川又隆央(中近世部会副会長)

昨年からコロナ禍以前の開催方法により実施した研究発表会を通常の方法で開催することができ、発表者・参加者の別なく、活発な情報共有・課題検討の場とすることができました。今後もより一層の内容充実にも努めたいと考えています。

一般研究発表では2件の発表があり、ともに過去に発生した津波を扱った内容でした。会場からは質問や今後の研究のあり方について提言がありました。

特集研究発表では中近世部会が中心となり企画した特集「宮城の中近世考古学の可能性」と題して、宮城県における中近世考古学のこれまでの状況と調査についてのまとめが行われるとともに新たな研究成果が紹介されました。5件の口頭発表と最後に今後の課題についてのまとめを行いました。

発表会については好評であり、特集の最後にまとめを行ったことで、専門外の人にも理解されやすかったと考えられます。会場からは今後の宮城県の中近世考古学を発展させていくための指針となったとの意見がありました。

## 学会主催・共催事業

【地域展示】東日本大震災復興調査成果活用実行委員会

●会場1 旧観慶丸商店

[期間]7月26日(水)～8月7日(月)

●会場2 リアスアーク美術館

[期間]8月23日(水)～9月3日(日)

●会場3 東北学院大学博物館

[期間]10月18日(水)～11月8日(水)

●会場4 山元町歴史民俗資料館

[期間]11月17日(金)～12月3日(日)

【日本考古学協会 2023年度宮城大会】(共催)

●災害と境界の考古学

[会期]2023年10月28日(土)・29日(日)・30日(月)

[会場]東北学院大学土樋キャンパス

宮城大会実行委員会 : <https://jaa2023.m-kouko.net/>

## 博物館・展覧会・イベント等情報

### 【東北歴史博物館】

#### ●特別展「古墳をつくる人びと—はにわ工人, ハジベ君!—」

〔会 期〕7月15日(土)～9月24日(日)

〔開館時間〕9:30～17:00(入館は16:30まで)

〔休 館 日〕月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

〔観覧料金〕一般1,000円、シルバー900円、小中高400円

### 【奥松島縄文村歴史資料館】

#### ●奥松島縄文村講座「縄文を語る！」

講座1 岡村道雄氏「ここまでわかった縄文文化」

〔日時〕7月16日(日)13時～15時

〔会場〕東松島市コミュニティセンター 〔定員〕150名

講座2 山田康弘氏「墓からみた縄文時代の社会」

〔日時〕8月6日(日)13時～15時

〔会場〕野蒜市民センター 〔定員〕120名

講座3 菅原弘樹氏「里貝塚の明かした縄文人の暮らし」

〔日時〕9月17日(日)10時～12時、13時～15時

〔会場〕奥松島縄文村歴史資料館 〔定員〕各50名

講座4 水ノ江和同氏「縄文シティサミット in ひがしまつしま  
「縄文にまなぶ持続可能な社会」

〔日時〕10月15日(日)13時～15時30分

〔会場〕東松島市コミュニティセンター

※事前申し込みが必要です。詳細は奥松島縄文村歴史資料館HP等をご覧ください。

### 【多賀城市教育委員会】

#### ●令和5年度速報展示

「発掘された遺跡 よみがえる古(いにしえ)の多賀城」

〔会場〕多賀城市埋蔵文化財調査センター展示室

〔会期〕7月22日(土)～9月10日(日)

〔開館時間〕9:00～16:30(入館は16:00まで)

〔休館日〕毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館)

〔観覧料金〕無料

### 【仙台市教育委員会】

#### ●第77回文化財展「文化財この一年」

〔会場〕東北電力グリーンプラザ

〔会期〕6月13日(火)～8月20日(日)

〔開館時間〕10:00～18:00

〔休館日〕月曜日(祝日の場合は翌日休館)

〔観覧料金〕無料

### 【松山ふるさと歴史館】

#### ●企画展「大崎市の瓦窯跡」

〔会 期〕6月10日(土)～8月20日(日)

〔開館時間〕9:30～17:00(入館は16:30まで)

〔休 館 日〕月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

〔観覧料金〕一般・大学生230円、高校生以下110円

〔期間〕11月17日(金)～12月3日(日)

## 県内発掘調査情報

### ●西岡遺跡

〔所在地〕加美郡加美町上狼塚

〔調査主体〕加美町教育委員会

〔調査期間〕令和5年6月26日(月)～11月(予定)

### ●吹付C窯跡ほか

〔所在地〕黒川郡大衡村大衡字萱刈場ほか

〔調査主体〕宮城県教育委員会

〔調査期間〕令和5年7月3日～

### ●多賀城跡

〔所在地〕多賀城市市川・浮島

〔調査主体〕宮城県多賀城跡調査研究所

〔調査期間〕5月15日(月)～10月(予定)

### ●大吉山瓦窯跡

〔所在地〕大崎市古川小林字浦越

〔調査主体〕宮城県多賀城跡調査研究所・大崎市教育委員会

〔調査期間〕5月15日(月)～8月上旬(予定)

## 会誌『宮城考古学』について

### ●第26号(2024年5月発行予定)の原稿募集

投稿希望の方は2023年11月30日までに、第25号または宮城県考古学会ホームページに掲載の投稿申込みフォームにて下記アドレスまでお申込みください。なお、応募多数の場合は早めに受付を終了することもございます。原稿締切りは2024年1月31日です。【原稿の種類】①論文(22頁以内)②研究ノート(12頁以内)③展望(12頁以内)④資料紹介ほか(8頁以内)。書式等の詳細は第25号を参照願います。

<連絡先>梅川 隆寛(会誌代表幹事)

E-mail: miyagikougakogaku@gmail.com

### ●第25号の訂正について

本文中に下記の通り訂正箇所がございました。深くお詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

p.99 10行目 「南西部の南東隅」→「南西部の南西隅」

p.113 27行目 「多賀城正面とその両面」→「多賀城正面とその南面」

## 会費の納入をお願いいたします

会費は一般会員が4,000円、学生会員が1,000円、夫婦会員が5,000円です。未納の方は、お早めにお支払い下さい。

## 文化財担当職員・学芸員の採用情報を募集しております

宮城県内の文化財担当職員や学芸員の採用情報を募集しております。提供していただいた情報は、当会Webサイトにて公開いたしますので、よろしく願いいたします。

<連絡先>高橋 透(連絡紙代表幹事)

E-mail: info@m-kouko.net(宮城県考古学会)

## 情報・寄稿などをお寄せ下さい！！

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。また、ご意見ご要望もお待ちしております。

本会Webサイト(<https://www.m-kouko.net/>)では、本会連絡紙のほか、お寄せいただいた情報を随時掲載いたしております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

<連絡先>高橋 透(連絡紙代表幹事)

E-mail: info@m-kouko.net(宮城県考古学会)